



勉強することはよいこと

よくこんな言葉を耳にする。

『今度のテストは成績に記入するんですか〜』
『成績に入らなかったらどうなんか！！せんとか！？』

『今度点数がからから〇〇貰って貰えるよ』
『そんなときだけ良くてダメでしょ！』
『どうせなら卒業までずっと80点以上とかにしてもらえ！』

そもそもなぜ勉強するのか！今日はそのお話であ〜る。

「みなさ〜ん、お勉強することは良いことですか〜、悪いことですか〜？」という質問に対し、単純に考えても『良いこと』となるだろう。複雑に考えてもやはり『良いこと』である。では、なぜ良いことなのか！

『そのテストでいい点とれるもん』
『いい高校に行けるからですよ！』
『高校の推薦がもらえるから』
『希望の仕事につけるから』
『お金いっぱい稼げるし』
『将来安定した人生が送れるもん』

などなど

というように『勉強するのは良いことである』となる。

しか〜し、これらはすべて自分の欲求のための勉強なのだ。実際に「チョ〜難関高校合格」という目標のために自分のすべてを勉強につき込み努力の上にまた努力・・・そして見事合格！自分の欲求をかなえた反動で真っ白に燃え尽きてしまう。これをちなみに「燃えつき症候群（バーンアウト）」と言うらしい。努力して欲望はかなえたもののその次の段階で「もっと大きな努力がいるよ」と知らされたときに陥りやすいらしい。逆に必死にがんばったが受験に失敗、第二希望の高校へ進むがやる気になれない。「もうどうでもいいもん」という悲惨な結末を迎えることになる。こういうことを考えると勉強することは悪いことになる。ではどうしたらいいのだろうか。それは「欲求をかなえる勉強」から『自分を高めるための勉強』に気持ちをかえるのである。これならいくらがんばっても努力しても損になることはない。

必ず自分の力がアップするのだ！すると思うように成績が上がらなくても次へのモチベーションを高いレベルで保つことができるのだ。

ある日出された宿題を夜遅くまでかかっておわらせる。翌日学校へ行くと〇〇高校受験者のための宿題だったということを先生から知らされる。

あ〜 がんばって損した〜。
ムダな時間や〜



と考えず

今まで知らなかったことを知れたし。
いつか役に立つかも



と考えられるようになるかもしれない。高校の面接などで



あや氏はなぜ勉強してきたのかよ

ハイ！
自分と高めたいからです



カッコイイ答えではないか！